

チンギスハーン像テーマパーク

チンギスハーン像テーマパークは、ウランバートルから東へ 54km離れた美しい自然の風景で彩られたトゥール川の高台に位置し、ツオンジン・ボルドグと呼ばれている記念の場所は同時時代の歴史を共有しています。テーマパークの面積は 212 ヘクタール、中央に高さ 30mの馬像がそびえ、その円形の台座は高さ 12m・直径は 30m あります。リクリエーションエリアにはハーンの博物館、展示場、レストラン、バー、土産物店、会議場などが馬像の中央に位置します。先見性に優れたハーンの右手には黄金の鞭が握られています。訪問者は馬像館より馬の後部に設置されているエレベータで馬のうしろの部分まで上がり、さらに胸の部分を通り抜け、首を通り馬の頭部に到着し展望窓からテーマパーク全体や周辺の自然風景を眺める事ができます。馬像を囲んで 200 以上のゲルが並んでおり、内装は現代的なイメージで整備されています。ゲルホテルの配置は13世紀のモンゴルの部族が使用していた古代の家畜の焼印の形にデザインされています。

モンゴル 13 世紀時代の国立公園

13 世紀のモンゴルを再現し、お客様に実際の環境の中で 13 世紀のモンゴルの生活様式を体験していただけるように小さな王国を再現しています。ここで、お客様は、王と王妃との会食や貴族を訪問したり、モンゴル文字の書き方や馬の尻尾で作られた楽器「馬頭琴」で素晴らしい自然の音色を奏でることに挑戦することができます。また、年間の行事である遊牧民のゲル用フェルト作り、剪毛、製毛、旗を奉戴する神聖な儀式、伝統的な結婚式や男の 3 大祭りを体験することができます。

- 1.中部:9 人の司令官と将軍、および武官は国事と武力行使を管理します。
- 2.西部:王や西の貴族らが住んでおり、国の財政や国文化事業を管理します。
- 3.東部:王と東の貴族等の妃等が住んでおり、東の貴族は外交政策や貿易を管理します。

■その他の地域の概要

フェルト作り・家具用品・皮革作り・職人ワークショップ文化センター・図書館・アーカイブ・法廷・偉大な法典・大工・宝石職人・手作品職人・絵ワークショップ・鍛冶屋・焼き物職人・遊牧民・警備隊・聖なる地の神殿・石山

チンギスハーン像テーマパークと13世紀国立公園(最新)

スケジュール	
ホテルにて待ち合わせ後、チンギスハーン像テーマパークへ移動します。到着後、(入場)テーマパークとその周辺を散策して頂きます。さらに13世紀国立公園へ移動します。(入場)ゲルにて昼食を頂きます。昼食後、13世紀のモンゴル帝国やモンゴルの伝統的遊牧生活の説明と学習します。夕方、ウランバートルへ戻ります。	 ▲イメージ
※内容は予告なく変更する場合もございます。予めご了承下さい。	

料金【参加人数/一人当たり】